

## 抄 録

### 腸「チフス」免疫に関する實驗的

研究(Ⅰ) 皮膚科紀要 33卷 1號

大江 乙彦

著者は腸「チフス」を経過した事無き者及過去2年間に腸「チフス」豫防接種をうけた事なき者に對し、腸「チフス」菌「ワクチン」を健康なる皮膚面及び粘膜面(鼻腔、口腔より肺氣泡に至る呼吸道及び大腸終末部)に用ひ何れの場合にも血液中に抗體の産生を認めた。其程度は呼吸道から噴霧狀として用ふる場合に抗體産生最も旺盛で、大腸管終末部より用ふる場合最も微弱である。又1回に使用する菌量の大なる程接種回数多い程獲得される凝集價は大となる。(桑原抄)

### 海狸再歸熱の實驗的研究(Ⅲ)

他動免疫海狸に對する同株生菌接種

皮膚科紀要 33卷 1號 小林 樵夫

奉天系再歸熱耐過免疫家兔血清を健康海狸の腹腔内に注入し他動免疫の出現を「アグロメラチオン」に由て檢索し抗體の移行出現を確めた後、同株「スピロヘータ」浮游液を接種し之に依て該抗體に如何なる影響を及ぼすかを觀察して次の結論を得た。

1、耐過免疫家兔血清を以て他動免疫を成立せしめた海狸に「アグロメラチオン」効價が最高に到達し得べき24時間後及び48時間後に同株「スピロヘータ」浮游液を接種しても「アグロメラチオン」効價は増昇しなかつた。

2、他動免疫海狸は同株再歸熱生菌の體內侵襲に對し一定の感染防禦力を有してゐる。(桑原抄)

### 「スンプ」法による毛髮表面像に就て

皮膚科紀要 33卷 1號 杉下 學人

著者は「スンプ」法により毛髮の表面形體的觀察を試み次の結果を得た。即ち人毛、獸毛の區別、人體毛髮の發生部位、性別、年齢等を、大凡

識別し、又毛髮斷端形態により切斷に使用した器具の鈍鈍を鑑別し、尙其經過日數も略知り得た。尙亦或種病的毛髮には著しい特異像を認める事が出來た。(桑原抄)

### Brown-Pearce 系癌腫の酵素學的 研究(Ⅲ)

Brown-Pearce 系癌腫家兔の腫瘍、並に肝、腎、筋及睾丸の「カタプシン」(「カゼイン」分解)に就て

皮膚科紀要 33卷 1號 森 義一

片側睾丸に移植して得た Brown-Pearce 系癌腫家兔を其臨床的症狀並に病理解剖學的見地より癌腫症初期群、中期群、末期群の3群に分ち睾丸原發、及肝、腎、淋巴腺轉移腫瘍の「カタプシン」作用の腫瘍組織の老成變遷(新鮮、過熱壞死)に伴ふ消長を檢索し併せて肝、腎、筋、睾丸の「カタプシン」量を測定して、之が消長と全生體の癌腫症性變遷經過との關係を觀察した(桑原抄)

### 2、3哺乳動物の雌性尿道粘膜上皮 特に尿道腺に就て

日本泌尿器科學會雜誌

27卷 11號 (昭和13年11月)

鈴木 三郎

著者は海狸、鼠類(家鼠、廿日鼠)、家兔、猫、犬、馬、羊、豚、牛、猿の尿道各部に於ける粘膜上皮並に尿道腺に關して組織學的檢索を行ひたり。(小原抄)

### 2、3哺乳動物の雄性尿道粘膜上皮 特に尿道腺に就て 第2編 人

同上 27卷 12號 (昭和13年12月)

鈴木 三郎

人の男性尿道粘膜上皮に就て、著者は次の如く述べたり。